

市民まちづくり連続講座② 2月22日(土) 13:30~16:30

市立図書館と「本のまち明石」を考える

明石駅前建設された再開発ビル「パピオス明石」に2017年1月、市立図書館が明石公園から移転オープンしてから丸3年を経ました。泉市政のまちづくりの看板の一つに位置づけられた「本のまち明石」のシンボル施設として、2019年までの3大数値目標の一つ「本の貸し出し300万冊」の目標を担わせられています。

市が掲げる「本のまちづくり」とは何なのか？ 市民が本に親しむまちづくりを目標にすることは歓迎したい政策ですが、そのための条件や環境づくり、行政と市民の役割をどのように位置づけて市民参加のまちづくりの核にしていくのか？ 数値目標ばかりが喧伝される中で、本のまち明石の目標と理解が霞んでいます。

市民まちづくり連続講座の20回目は、本のまち明石と図書館のあり方に焦点を当てて、市民の立場から考える機会をつくりました。市の「本のまち明石」担当職員や市立図書館の代表らにも参加を要請し、ともに考えませんか。

第20回 市民まちづくり連続講座 in 明石

日時 2020年2月22日(土) 午後1時30分~4時30分

会場 ウイズあかし8階 市民活動支援センター・スペースA&B (アスパア明石8階)

テーマ 市立図書館と「本のまち明石」を考える

※無料。事前申し込みは不要。どなたでも参加できます。当日会場にお越しください。

明石市が「本のまちづくり」を掲げるようになったのは、2011年5月に就任した泉市長が明石駅前再開発ビルの核テナントに計画されていた“分庁舎”計画を変更し、明石公園にあった市立図書館を再開発ビルを中心施設に移転することを決めてからです。2013年4月に策定した市民図書館整備基本計画で「図書館を中心にした本のまち明石プロジェクト」を掲げています。

その後、2017年1月には再開発ビルの4階と6階(書庫)に図書館、5階子どもフロアに専用図書室を開館し、同時に、民間に指定管理委託した図書館とは別に政策室に「本のまち担当」を置き、関連施策の推進をめざしました。ただ、本のまちづくりは「まちなか図書館」や読書に親しむさまざまなソフト事業に取り組むとしているものの、その内容は市民には分かりにくく、「貸し出し冊数300万冊」という数値目標だけが強調されている感があります。

欠ける市民参画の視点 3回の検証ワークショップの成果を7つの指標にまとめ提案へ

市民自治あかしはこの講座開催に先だって、昨年10月から3回にわたって「図書館と“本のまち”」検証ワークショップを開催し、図書館を考える際の視点や図書館業務と機能、市民が期待する図書館機能の充実や、市民が読書に親しむための環境整備と市政の役割などについて議論を発展させてきました。

とくに、明石市が全国に先駆けて2006年から図書館運営を民間企業の指定管理者に委託する制度に切り替えてきた影響や、同規模自治体に比べて蔵書数などが少ないことなども明らかになりました。こうした課題は、明石公園内にあった旧図書館時代から改善されていないことや、図書購入費が新図書館になっても増えていないことにも見られます。

2月の講座ではこうした検証結果から、「本のまち明石」のまちづくりが市民の誇りとなるような展開にしていくためのガイドラインを「7つの指標」にまとめて提案する予定です。

全ての市民が本に親しむまちづくりを進めていくには、市民の参画が不可欠です。いや、市民が主体になったまちづくりを、行政が環境整備していくことが大事なのですが、これまでのところ市民参画の視点が乏しいことも問題です。

多くの市民の皆さんの議論で、流れを変えていきましょう。

促進決議 審議不十分のまま、拙速ではないか？

市庁舎建て替え

明石市議会に「公開質問書」提出、市長には要望書も

新庁舎を現在地で建て替えた場合の概算費用について、市は138億円としています。実際には、周辺整備費なども必要になり、140億円を越す大規模な公共事業になります。

市議会の推進決議では、防災面や市民参画に対する配慮を“付帯条件”として尊重するように求めています。が、議論が不十分のまま放置された問題点は数多くあります。

このため、市民自治あかしは12月議会開会に合わせて12月4日、6つの問題点に絞って「公開質問書」を大西洋紀議長と穂原成人・新庁舎整備検討特別委員会委員長に提出しました。市議会に提出します。また、泉市長に対しても同日「市民への説明」や「計画過程への市民参画」を行うよう求めた要望書を提出しました。

市議会への公開質問書の質問事項は、次の通りです。

質問事項についての詳細は、市民自治あかしのホームページにアップしています。<http://shiminjichi-akashi.net/>

1. 唐突な9月26日の特別委員会議決、審議は尽くされたのか？
2. 「庁舎のあり方」についての議論がないまま、早期建て替え促進決議でいいのか？
3. 市庁舎建設に「市民の参画」をどのように保障していくのでしょうか？
4. 市庁舎の防災対策について、災害時にも必要な機能をどう考えられていますか？
5. 数ある候補地から「現在地」を適切と判断した根拠は何ですか？
6. 決議の決め手になった国の財政支援は、本当に有効なものになるのでしょうか？

市民まちづくり連絡講座 in 明石 今後の講座開催計画とこれまでの足どり

回	日 時	テーマと内容	会 場
20	2月22日(土)	市立図書と「本のまち明石」を考える	ウイズあかし8階
21	3月14日(土)	住民投票条例はどうなったのか？	ウイズあかし8階
22	4月中旬	SDGsって、なに??	
終了した講座とテーマ			
①	2017年7月23日	明石港再開発計画とは何か？	自主講座
②	2017年8月26日	中核市移行の持つ意味と課題	明石市の出前講座
③	2017年10月7日	旧図書館跡と生涯学習センター分室の行方	明石市の出前講座
④	2017年10月28日	明石の食文化とは何か？	自主講座
⑤	2017年12月3日	「支え合いの地域福祉」の現状と課題	明石市の出前講座
⑥	2018年1月28日	公共施設の削減計画はどうなった？	明石市の出前講座
⑦	2018年2月24日	明石市議会はいま…どうなっているの？	自主講座
⑧	2018年4月15日	自治基本条例の市民検証報告書を読む	自主講座
⑨	2018年5月19日	明石の飲料水(上水道)事業の過去、現在、未来	明石市の出前講座
⑩	2018年6月24日	清掃工場の建て替えとゴミ減量行政の課題	明石市の出前講座
⑪	2018年7月29日	小学校区の「協働のまちづくり組織」はいま…	明石市の出前講座
⑫	2018年8月26日	下水道の整備計画はどうなっているのか？	明石市の出前講座
⑬	2018年10月27日	地域と学校 コミュニティ・スクールの現状と課題	明石市の出前講座
⑭	2018年11月10日	制度が変わった国民健康保険 負担と財政は？	明石市の出前講座
⑮	2018年12月9日	支え合いの地域福祉 Part II どう展開しているか？	明石市の出前講座
⑯	2019年9月21日	保育の質と量—明石市の子育て支援を考える	自主講座
⑰	2019年11月2日	新庁舎整備のあり方を考える—経過と現状、課題は？	明石市の出前講座
⑱	2019年11月30日	明石のみちビジョン—過去、現在、未来	明石市の出前講座

⑬	2020年1月11日	討論集会「これでいいのか！市庁舎建て替えの進め方	自主講座
---	------------	--------------------------	------